



真宗大谷派（東本願寺） 天満別院

大字城

729号
2025
8/1
大阪市北区東天満1-8-26
06-6351-3535
代表者 輪番・奥林 曉

（天満別院崇敬寺院巡り）

無上山 本行寺
むじょうざん ほんぎょうじ

住職・小谷 淳也
住所・寝屋川市大利元町三番二十二号

沿革

無上山本行寺の創建は、大利村天津善之丞光正が、本願寺第11代の顕如上人に帰依して僧となり、名を徳本坊道意と改め、元亀元（一五七〇）年に建立したと伝えられています。

寛文元（一六六一）年、東本願寺第14代の琢如上人より寺号を受けました。その後、代々看坊持の寺院となりました。宝永7（一七一〇）年に再建、宝暦9（一七五九）年に改築と古文書に記されています。

明治20（一八八七）年頃、天津智月住職の時代、当地の茨木家が廃滅したことをうけ、その旧邸を改造して移転したのが現在の寺地です。それ以前は東南30メートルの地にありました。移転と同時に土地の繁栄を兼ね、毎年、11月2日より3日間盛大な報恩講を勤められることとなり、「大利ほんこう」と呼ばれ、多くの見世

暁天講座 案内

日時 8月2日（土）

6時～ おつとめ

6時30分～

7時30分頃まで法話

講師 浄土真宗本願寺派如来寺 釈徹宗 師

講題 「ことばと仏教」

場所 天満別院同朋会館 講堂

※聴講は無料です。尚、講座終了後には軽食を用意しております。

（ご提供 太田石材店様）

今月の伝道掲示板

念佛とは

「今」の有難さを

見出す智慧

金子大栄

おかげさまで創業120余年

あなたの街の石やさん

株式会社 太田石材店

～仏事その他何なりとお気軽にご相談ください～

フリーダイヤル 0120-305-075

本社
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078

～ご縁を大切に～

日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下る
TEL075-351-6325 FAX075-341-5255
https://www.kyo-kusaka.jp

ご家庭仏壇仏具から寺院仏具の設計施工まで
大阪仏壇仏具センター
株式会社 越前屋
0120-06-0401
https://www.echizenya.co.jp
服部本店・本社工場
〒561-0858 大阪府豊中市服部西町1丁目8-15
06-6862-0401
千里中央店 06-6871-0401
十 三 店 06-6300-0401
教 賀 店 0770-25-0401

物や売店が出て、近郷近在より多数の参詣者で非常な賑わいを体していました。

大正14（一九二五）年、時の住職小谷辰磨は、門徒一同の協力で、本堂併びに庫裡を再建しました。

また当山前住職小谷雅俊は、門徒一同の協力に依り、昭和56（一九八一）年には本堂修復、書院・庫裡の改築および、親鸞聖人御誕生八百年・立教開宗七百五十年慶讃法要を勤め、昭和63（一九八八）年本堂内陣の修理、平成6（一九九四）年山門等整備を行いました。平成24（二〇一二）年5月には親鸞聖人七百五十回御遠忌法要が盛大に厳修されました。記念事業としては、本堂内陣障子の新調、ガラス戸の新調などが行われました。

お念仏の聞法道場として、多くの方々の篤い願いにささえられて、代々先達から受け継がれてきたお寺です。

現在は修正会、春秋永代経、報恩講、秋彼岸等の法要を勤修されております。

掲示板も2カ所設置され、住職は、「人通りの多いところにはわかりやすい言葉を、お寺側には、仏教の言葉を掲示するようにしています。世代交代によって若い人との接点をどうやってもっていくのが課題です。例えば本堂での法事の後にゆっくりお話するなどを行ったり、たまたまお寺と神社の役員さんが同じ方なので地域の昔の話が気軽に聞けるような会なども作っていきたい」と話されていました。

盂蘭盆会法要

うらぼんえ

日時

8月13日(水)
午後1時30分
～3時30分

講題

「亡き人から
願われている私」

ご講師

茨田 通俊師(願光寺)

ご講師からのメッセージ

お盆には亡き人を偲んで、お寺やお内仏、お墓にお参ります。多くの人が休暇の時期に当たり、帰省先で仏事に触れる場合もあるでしょう。このようにお盆は、私たちの生活に最も浸透した行事とも言えるでしょう。

同時にお盆の法会ほど俗説や迷信が広まっているものありません。私たちはひたすら先祖の供養のためとして、お勤めやお供えをするのですが、その心は本当にお盆という仏事に込められた願いに沿ったものなのでしょうか。俗信にとらわれて迷っている自分の姿には気付かずに、仏となった亡き人に自分の都合の良い願いを振り向けていませんか。逆に亡き人から私にかけられた、真実に目覚めよという仏の願いに出遇わせていただいているのでしょうか。

今回はお盆の言われを紐解きながら、私たち真宗門徒にとってのお盆の迎え方を確かめましょう。

真宗大谷派(東本願寺)天満別院

Q&A

葬儀で使った白木の位牌が残っているけれど、
どうしたらよいのでしょうか？



答え

お葬式の後、ご命日から数えて七日ごとに中陰のお勤めをし、四十九日に満中陰の法事を行います。白木の位牌は満中陰までの間、お内仏の横に設けた中陰壇に置きます。満中陰が終われば、中陰壇は片付け、白木の位牌は使いません。その代わりに法名軸か過去帳に法名を記すのが一般的です。また、真宗では白木の位牌に魂が宿っているとは考えません。この世のご縁が尽きると、お浄土に帰って行かれるのです。

ところで、森絵都さんの「出会いなおし」という短編集に、「年を重ねた方と「出合いなおし」をする

白木の位牌がまだ残っていると

(第15組 安通寺 楠本史朗)

ご案内

墓前申経について

お盆の墓前申経は、左記の日程となります。

記

日程 8月12日(火)から
16日(土)

時間 9時～17時まで

受付 天満別院

同朋会館講堂前

※ 12日・13日のみ講堂前それ以外は、墓地事務所にて受付

※ 休憩所として同朋会館講堂をご利用ください。

※ 別日にて申経をご希望の方は、事前に別院寺務所へご連絡ください。

※ お供えものは当日にお持ち帰りください。

ご報告

夏の御文法要

6月22日(火)、御講師に名古屋教区有隣寺祖父江佳乃師をお迎えし、節談説法で講題「大事をいただく」～親鸞聖人御一代記～をお話いただきました。

節談説法は、ご門徒の皆さんが高座でのお説教を復活させて欲しいと願われてのものでした。節とは言葉の音の高さ・低さ・間さらに長さ・短さで表したものです。感情のこもった迫力のあるお話で参拝にこられた方々を引き込んでおられました。



有隣寺 祖父江 佳乃 師